



2024年2月7日

各 位

会社名 三 菱 製 鋼 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長執行役員 山 口 淳
(コード番号 5632 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員経理部長 柳 沼 康 一
(TEL. 03-3536-3135)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2024年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	165,000	8,000	5,500	3,000	197.16
今回修正予想(B)	165,000	4,500	1,500	100	6.54
増減額(B-A)	0	△ 3,500	△ 4,000	△ 2,900	
増減率(%)	0.0	△ 43.8	△ 72.7	△ 96.7	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	170,537	5,547	3,743	2,190	142.62

2. 修正の理由

[売上高]

主要需要先である建設機械向けの需要が下期より急減、これに伴いサプライチェーンにおける中間在庫調整の影響もあり、当社の受注が大幅に減少しています。加えて産業機械・工作機械向けも中国の景気悪化の影響を受け需要が大幅に減少していることから、売上数量が当初の想定以上に減少する見込みです。

一方で、自動車向け需要は引き続き好調に推移したことに加え、足元の円安進行に伴い為替想定レートの見直し(1\$ = 140円 → 145円)を行ったことによる海外子会社の換算影響等もあり、当初の予想並みの水準となる見通しです。

[営業利益]

国内特殊鋼鋼材事業において、以下の要因により損益が悪化し、当初の予想を下回る見込みです。

- ・ 建設機械及び産業・工作機械の需要減による売上数量減
- ・ 生産数量減に伴う生産性や原単位の悪化
- ・ 円安進行により輸入原材料価格が上昇、鉄鉱石・原料炭市況も足元では上昇し、調達コストが増加
- ・ 計画していた生産コスト改善も、数量の大幅な減少を受け改善が進まず

今後の見通しについて、鋼材需要は中国や欧州経済の不透明感等もあり、引き続き厳しい状況が続くことが見込まれます。こうした中、原材料市況の上昇や円安の進行に加え、その他の副原料や資材費、労務費、物流費等の諸コストの上昇が続いています。これらコスト上昇分について今後売価への転嫁を進め、コストアップにより縮小した適正マージンの確保を行うことで、国内特殊鋼鋼材事業の損益改善を図ってまいります。

また、損益改善に向けた各施策は順調に進捗しており、インドネシアの海外鋼材事業、素形材・機器装置事業は計画通り進捗、ばね事業でも、欧州や中国で景気悪化の影響を受けているものの、昨年まで多額の損失を計上していた北米子会社では、当初の計画どおり6期ぶりの営業黒字を見込んでいます。北米子会社では、さらなる売価転嫁と生産コストの改善を進めることで、安定した利益の創出を図ります。

これにより、需要環境が厳しい中でも利益成長を図ることのできる体質を構築してまいります。

[経常利益 及び 親会社株主に帰属する当期純利益]

営業利益の減少に加え営業外費用の増加により、当初の予想を下回る見込みです。

営業外費用については、今後、北米ばね子会社の財務リストラ等により削減を進めてまいります。

3. 配当予想について

当期の配当予想については、当初の計画(期末配当35円、年間60円)から変更ありません。

また、当中期経営計画期間中(23~25年度)は配当性向30%を目安に配当額を決定するとともに、1株当たり配当金の下限値を年間60円と設定し、当中計期間中は当期の期初に計画した金額から減配を行わない方針といたしました。

方針につきましては、本日別途開示いたしました「配当方針の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

当社は、株主の皆様への利益還元を最重要課題の一つと考えており、配当金額の決定に当たっては業績に応じた利益還元を考慮しつつ、安定配当の維持を重視しております。当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が継続しており、当期につきましては、上記の通り主に外部環境を主因として当初の予想を下回る見込みとなりましたが、一時的な業績変動に連動して減配を行うよりも、来期以降の利益回復と成長も見据え、安定的に株主還元を行うことを重視し、当初計画した金額を維持することといたしました。

(注)上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上